

令和6年4月8日

都道府県中小企業団体中央会 御中

全国中小企業団体中央会

令和6年度における林業の安全衛生対策の推進について（要請）

この度、標記に関し、厚生労働省労働基準局安全衛生部より、本会会長宛てに、別紙の通り周知依頼がありました。

つきましては、貴会におかれましても、傘下の会員組合・組合員企業等に対し、本件につきまして周知していただきますようお願い申し上げます。



基安安発 0328 第 3 号
令和 6 年 3 月 28 日

全国中小企業団体中央会会長 殿

厚生労働省労働基準局安全衛生部
安全課長

令和 6 年度における林業の安全衛生対策の推進について（要請）

日頃より、安全衛生行政の推進に御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、林業における令和 5 年の死亡災害の発生状況を見ますと、令和 6 年 3 月の速報値で 29 人となっており、前年同期と同数となっていますが、更なる死亡災害の減少のため、引き続き鋭意労働災害防止対策を推進していくことが強く求められています。

厚生労働省では、従前より、労働安全衛生関係法令に基づく対策の徹底、自主的な安全衛生活動の促進等により林業における安全対策を推進してきたところですが、第 14 次労働災害防止計画の内容も踏まえ、令和 6 年度における林業の安全衛生対策の推進に係る留意事項を別添のとおり取りまとめましたので、傘下の会員等に御周知いただく等により、引き続き、林業の安全衛生対策の推進に特別の御配慮を賜りますようお願いいたします。

令和6年度における林業の安全衛生対策の推進に係る留意事項

1 第14次労働災害防止計画に基づく対策の推進

林業では伐木作業等における「激突され」等、業種に特有の死亡災害が多く発生している（令和5年の死亡災害発生件数は、令和6年3月速報値で29人（別添1））。

第14次労働災害防止計画（以下「14次防」という。）において、林業は、業種別に労働災害防止対策を推進する業種の一つとされ、引き続き労働災害の一層の減少を図り、特に死亡災害の大幅な削減に向けて取り組むこととされている。

事業者、発注者等の関係者においては、関係法令の遵守の徹底、関係のガイドライン等に基づく対策の強化等を通じ、労働者の安全衛生の確保に必要な役割を果たすとともに、14次防の目標である死亡者数の15%以上の減少に向け真摯に取り組むことが重要である。

このため、令和6年度においては、次の措置が着実に講じられるよう取り組むこと。

- ① 伐木作業及び車両系木材伐出機械の運転等に係る労働安全衛生規則（昭和47年労働省令第32号。以下「安衛則」という。）に基づく措置（別添2、3）
- ② 「チェーンソーによる伐木等作業の安全に資するガイドライン」（平成27年12月7日基発第1207第3号。以下「伐木等作業の安全ガイドライン」という。）（別添4）に基づく措置
- ③ 「林業の作業現場における緊急連絡体制の整備等のためのガイドライン」（平成6年7月18日付け基発第461号の3。以下「林業の緊急連絡体制整備ガイドライン」という。）（別添5）に基づく措置

2 伐木等作業における安全衛生対策の推進

「花粉症対策初期集中対応パッケージ」（令和5年10月11日、花粉症に関する関係関係会議決定）に基づき、今後、スギ人工林の伐採・植替えの加速化等、伐木作業の増加も見込まれている。

伐木作業等の安全対策について、小規模事業場における労働災害が多い状況にも留意し、安衛則に基づき、立木の伐倒時の措置及びかかり木処理の禁止事項の徹底を図るとともに、下肢を保護する防護衣の着用、木材伐出機械等の安全対策の徹底等を図ること。

また、伐木等作業の安全ガイドライン及び林業の緊急連絡体制整備ガイドラインを関係事業者に対して一層積極的に周知するとともに、安全衛生教育等の機会を活用し、作業員に対して作業時の遵守事項、留意点等必要な事項を改めて教示すること等により、作業現場におけるガイドラインの普及、定着及びその徹底を図ること。

さらに、車両系木材伐出機械の運転等に当たっては、安全衛生関係法令の遵守等により、伐木等作業の安全を推進すること。

チェーンソー作業については、「チェーンソー取扱い作業指針について」（平成21年7月10日付け基発0710第1号。以下「チェーンソー指針」という。）（別添6）及び「騒音障害防止のためのガイドラインの改訂について」（令和5年4月20日付け基発0420第2

号) (別添 7) に基づく振動障害予防対策及び騒音障害防止対策の徹底を図ること。

熱中症予防対策については、「STOP!熱中症 クールワークキャンペーン」を令和 6 年度も 5 月から 9 月まで実施することとしているので、実施要綱に基づき重点的な対策の徹底を図ること。

3 安全衛生教育の推進

労働者に対する安全衛生教育等を的確に実施するとともに、令和 3 年 3 月 17 日付け基発 0317 第 2 号「チェーンソーを用いて行う伐木等の業務(労働安全衛生規則第 36 条第 8 号の業務)従事者安全衛生教育について」(別添 8) に留意の上、概ね 5 年ごとに労働者が労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号)第 60 条の 2 に基づく能力向上教育を受講できるよう、あらゆる機会を通じて周知するとともに、発注者等においても必要な配慮を行う等により、安全衛生教育の機会を確保すること。

また、チェーンソー作業に係る安全衛生教育の実施に当たっては、チェーンソー指針等に基づく、「日振動ばく露量 A (8)」をもとにした作業時間の管理等に関する内容も含んだものとなるよう留意すること。

なお、厚生労働省においては、令和 6 年度に林業分野の外国人労働者向け安全衛生教材の作成を予定している。

4 チェーンソーによる伐木等作業に係る安全対策講習会への参加勧奨について

厚生労働省委託事業により、チェーンソーによる伐木等作業に係る安全対策講習会を開催する予定であり、講習会では実技の時間を設定し、実機を用いて安全のポイントについて理解し習得できるようにしている。林業事業者に対して本講習会を周知する等により、事業場の安全担当者等の参加促進を行い、労働安全衛生法令及び伐木等作業の安全ガイドライン等の周知とこれに基づく措置の徹底を図ること。

5 関係行政機関の連携の強化

林業の安全衛生対策を推進する上で、厚生労働省、林野庁、都道府県林務部局等の関係行政機関が連携をすることは極めて重要である。このため、関係行政機関が連携・協力し、関係機関連絡会議の開催、合同パトロールの実施等の取組を進めるとともに、労働災害の発生を迅速に関係機関で共有する等、労働者の安全と健康を確保するために必要な措置が確実に講じられる環境づくりを進めること。

6 関係行政機関と林業・木材製造業労働災害防止協会等との連携の強化

林業・木材製造業労働災害防止協会は、厚生労働省補助事業等により地域の実態等に即した取組を進めるとともに、業系団体等と効果的な連携を図り、林業の安全対策を推進することとしている。具体的には、令和 6 年度も伐木作業における安全水準の向上等を図るため、安全管柱士が林業普及指導員等の協力を得つつ、現場パトロール等を行うとともに、伐木等作業及び車両系木材伐出機械作業に関する作業計画の適切な作成のための講習会

を行うこととしているので、パトロールへの参加や講習会の参加勧奨等を通じて林業・木材製造業労働災害防止協会の都道府県支部等との連携を強化すること。

7 発注者における取組

労働災害の防止のためには、事業者による取組のみならず、発注者においても、事業の期間（契約期間）、作業方法、発注金額等が安全で衛生的な作業の遂行を損なわないよう十分配慮することが重要であることから、発注者は、事業を受託する者が安全と健康を確保するための措置を確実に講じられるよう安全衛生対策経費の確保をはじめ必要な取組を進めること。



2023年の林業における死亡災害の事例

番号	発生月	時間帯	業種	作業の概要
1	1月	10~12	その他の林業	倒木を木材グラップル機で移動させていた際、付近で倒木の根切り作業に従事していた被災者に当該倒木が激突したものの。
2	2月	10~12	木材伐出業	高所作業車のバスケット上で枝払い作業を行っていたところ、高所作業車が転倒したものの。
3	2月	10~12	木材伐出業	同上
4	2月	14~16	木材伐出業	伐倒木の枝払い作業中、斜面上方にあった別の伐倒木が滑り落ち、被災者に激突したものの。
5	2月	16~18	木材伐出業	単独で皆伐作業を行っていたところ、何らかの理由により枯損木が被災者に倒れ、下敷きになったもの(推定)。
6	3月	10~12	木材伐出業	伐倒した立木が尾根の縁等に当たって跳ね返り、待避中の被災者に激突したものの。
7	3月	12~14	木材伐出業	かかり木処理中にかかり木が倒れ、近くにいた被災者に激突したものの。
8	3月	14~16	木材伐出業	伐木作業中、立木が裂け、伐倒した立木が被災者に腹部に激突したものの(推定)。
9	3月	14~16	木材伐出業	伐木作業において、追い口を作っている最中に立木が裂け、裂けた木が被災者に激突したものの。
10	4月	14~16	木材伐出業	積載型トラッククレーンで丸太を下ろそうとした際、当該トラッククレーンが傾き、アウトリガーと集積された丸太との間に挟まれたものの。
11	5月	8~10	木材伐出業	斜面にて伐木の作業中、斜面から滑落したものの。
12	5月	10~12	木材伐出業	伐木作業中、追い口を深く切りすぎてしまい、立木が被災者のいる方向に倒れ、激突したものの。
13	5月	14~16	木材伐出業	木材グラップル機を用いて伐倒木を走行集材機械の荷台に積み込む作業を行っていたところ、木材グラップル機とともに斜面を転落したものの。
14	7月	8~10	木材伐出業	間伐作業中、伐倒木の近くに立っていた枯損木が倒壊し、被災者に激突したものの。
15	7月	10~12	木材伐出業	木材グラップル機を用いて作道作業中、路肩から谷側に木材グラップル機ごと転落したものの。
16	7月	14~16	木材伐出業	つるがらみにより伐倒した立木とは別の立木が倒れ、被災者に激突したものの。

17	7月	6~8	その他の 林業	刈り払い機による作業中、蜂に刺されたもの。
18	8月	10~12	木材伐 出業	伐倒した立木がかかり木になり、かかられた木が倒れ、さらにかかられた木も倒れ、当該かかられた木が被災者に激突したもの。
19	8月	10~12	その他 の林業	木材グラップル機の運転席に侵入した蜂に刺されたもの。
20	8月	12~14	その他 の林業	伐倒木が伐倒方向にいた被災者に激突したもの。
21	9月	10~12	木材伐 出業	風倒木を取り除くため、チェーンソーで風倒木等を切断する等の作業を行っていたところ、斜面を転落したもの。
22	9月	10~12	その他 の林業	木材グラップル機の運転中、切り株を避けるため山道の路肩側に寄った際、山道の一部が崩壊し、木材グラップル機とともに転落したもの。
23	10月	10~12	木材伐 出業	杉の木の中腹付近を芯切りするため、杉の木の上部でワイヤー取付け等の作業を行っていたところ、約9メートル墜落したもの。
24	11月	8~10	木材伐 出業	機械集材装置を用いて伐倒した木材をつり上げようとしたところ、吊り荷を吊っていたワイヤロープが切れ、その反動で搬器が載っていた主索が被災者に直撃したもの。
25	11月	10~12	木材伐 出業	待避が完了していないにもかかわらず待避したと勘違いし立木を伐倒したところ、伐倒木が被災者に直撃したもの。
26	11月	14~16	木材伐 出業	受け口及び追い口が作られた立木を木材グラップル機で押し倒す作業を行っていたところ、路肩から木材グラップル機ごと転落したもの。
27	11月	14~16	その他 の林業	伐倒作業後、別の伐木作業箇所に移動中、木材グラップル機で集材中の伐倒木に激突されたもの（推測）。
28	12月	14~16	木材伐 出業	山林で境界明示及び写真撮影作業中、足を滑らせ、斜面を転落したもの。
29	12月	14~16	木材伐 出業	伐倒木等の集材及び林道の整備のため、木材グラップル機を運転していたところ、木材グラップル機とともに約30メートル下に転落したもの。

(注) 2024年3月7日時点での速報であり、今後、内容が修正されることがあり得る。